

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1292700190		
法人名	株式会社ヘルシーサービス		
事業所名	グループホームガーデンコート我孫子北(1階)		
所在地	千葉県我孫子市久寺家307-1		
自己評価作成日	平成29年2月15日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社アミュレット
所在地	東京都中央区銀座5-6-12みゆきビルbizcube7階
訪問調査日	平成29年3月2日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>当社の社是である、お客様・ご家族・地域の「健やかな暮らしに」に貢献するの 実現に向けて全職員が行動目標を持ち、個々のお客様が自立した楽しい生活が送れるように 支援しております。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>今年度ホームでは地域交流に力を入れ、利用者の方がホーム入居後においても地域の 一員として暮らし続けることができるように取り組んでいます。特に今年度は自治会内のまち づくり協議会の会長と接点を持つ事ができ、地域行事への参加が高まりました。地域で開催さ れるサロン活動やまちづくり協議会主催の行事への参加を通じて、利用者が地域の方と交流 できる機会が増えています。また、社会福祉協議会が主催する認知症カフェにも参加をし、当 ホームの取り組み等を参加者の方に呼び掛けています。今後に向けても地域との交流を継 続すると共に日常定期的な外出活動の充実にも取り組む姿勢が確認できました。</p>
--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが ○ 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「社是・経営理念・心得」を拠点会議及び研修開催時、職員で唱和し、共有しております。	会社の社是、経営理念、心得をホーム内に掲示し、職員会議開始前の唱和により職員間で共有しています。また、地域向けやホーム内の行事開催にあたっての目的などを説明する際には、社是や心得を引用して説明するようにしています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	今年度は我孫子北地区において、まちづくり協議会の行事への積極的参加、「よりみちサロン風」の畑作業への協力を通し顔なじみの関係が構築できました。	地域で開催されるサロン活動やまちづくり協議会主催の行事への参加を通じて、利用者が地域の方と交流できる機会を設けています。また市のボランティア制度を活用しボランティアの受け入れや認知症サポーター養成講座の開催も行っています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	11月度外部講師を招いて「認知症介護サポーター養成講座」を開催し、地域住民の参加をいただいております。同じく11月に社協の「認知症カフェ」にて「GH」のことを語らせていただきました。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	今年度は2ヶ月に1度、偶数月に開催しました。事故防止や、感染症対策、災害(緊急時)の対応方法等ご意見いただき、活用させていただいております。又、認知症の方ご本人と職員に対する理解が深まったように感じております。	会議には家族、まちづくり協議会、地区民生委員、他事業所の施設長等の参加を受け2ヶ月に一度定期的に開催しています。会議では、ホームの取り組みや運営状況の報告のほか、参加者との意見交換を通じてサービス向上につなげられるように取り組んでいます。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	今年度は地域行事、社会福祉協議会の行事で市や、地域包括職員と一緒する機会は多くなっております。ご本人とご家族も含めた相談や、制度に関する相談にのっていただいております。	市の担当課職員は地域包括支援センターと交互で2ヶ月に一度の運営推進会議に参加しており定期的に意見交換を行うことができます。運営上の疑問点等を相談した際にも丁寧に回答を受けることができ、日頃から協力関係を築き運営を進めています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	今年度は1月に全職員に「自己点検シート」を使用しアンケートを実施し各自のケアについて振り返りを行っていただきました。玄関施錠については未改善となっております。	不適切な対応が発生していないか「自己点検シート」において全職員で確認を行うと共に、毎月の職員会議や日々の申し送りにおいて不適切な対応がないように注意を呼び掛けています。現状ホーム内では身体拘束につながる事例は発生していません。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員には定期面談(3ヶ月毎)にてヒアリングを行うと共に介護相談員の訪問(第三者)、管理者による抜き打ちチェックを実施しております。		

グループホームガーデンコート我孫子北(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者、介護支援専門員は管理者研修等において学んだ「権利擁護に関する制度」をもとに職員に指導・教育しております。身近な「社会福祉士」への相談やいただいた助言をもとに情報共有を行っております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の締結、解約、又は改定等の際は、必ず文書を用いて説明を行っております。疑問点については具体例を出して、ご理解いただいております。改定に関しては事前にお客様に対し、文書にてご案内をして、準備をしていただきます。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	今年度は10月に「お客様アンケート」を実施し匿名にて本部宛てにご意見、ご要望をあげいただき運営に反映させていただいております。家族環境が異なる為、個別に対応させていただいております。	家族からの意見や要望については面会時に直接伺うほか、電話連絡を通じて個別に確認しています。また毎年本部より「顧客満足度調査」を実施し、家族の方が事業所に対して意見や要望等を表出できる機会を設けています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員の意見は随時、聞く耳を持ち出来る範囲で取り上げるようにしておりますが、今年度はユニット会議開催数が少なく、反省点でもありません。Wワークの方が多いので開催日時等工夫して実施回数を増やしていきます。	管理者は3ヶ月に一度職員と個人面談を実施し、職員からの意見や要望等を個別に確認しています。支援や業務に対する意見、要望、提案等については会議や申し送り等で確認し、日々の支援に活かしていけるように取り組んでいます。	毎月予定している拠点会議の開催が不定期になっていることもあり、今後は定期的な開催を期待します。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員に定期面談(3ヶ月毎)にてヒアリングを行い各自の状況把握に努めております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	人員不足ということもあり、法人外への研修の参加が消極的になり、反省しております。資格保有者によるOJTは実践出来ました。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他事業所の事例検討会、我孫子市事業者連絡協議会主催の勉強会や、地域密着型サービスとの情報共有は随時行っております。近隣施設の「運営推進会議」への参加をしあい、活用させていただいております。		

グループホームガーデンコート我孫子北(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初回面談より、入居当初はご本人の生活歴や趣味嗜好が活かせるように努めております。住み替えによる混乱を最小限にできるようにご家族にも協力を仰いでおります。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	施設に入居することでご家族に罪悪感が生まれまいようにと、いつも努めております。不安、要望にはひとつひとつ応えられるよう対処しております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	GHとはどのようなところで、どのようなサービスであるかをご家族全員にご理解いただけるように説明させていただきます。今、必要なサービスを選択いただけるように対応(紹介)しております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	お互いに感謝し合える信頼関係の構築に努めております。一人一人を「歯車」として捉えております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族においても「歯車」として捉えております。時には入居者の家族としてではなく、他のお客様との談話を楽しみに来て下さるご家族も増えました。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族、友人、知人の訪問(外出)の受け入れをしております。「将棋同好会」に週に1回のペースでお出かけになる方や、顔なじみの美容室(床屋)のご利用、お買いもの等の継続が出来るよう支援しております。	これまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないように、通い慣れた床屋の継続利用やこれまで通っていた将棋同好会に週に一度通えるように支援するなど、これまでの関係が継続できるように取り組んでいます。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	孤立せずに生活できるように顔を合わせる機会を増やすこと、レクリエーションへの誘導や見守りを行っております。		

グループホームガーデンコート我孫子北(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	3月、6月、9月にご退去がりましたが、退去後もご家族の相談や、経過をフォローさせていただいております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人・ご家族の希望、意向を把握しつつ、施設からのご提案をさせていただき、最終的に思いに応えられるように努力しております。	利用者からの意向や要望等については、職員が日常会話から収集し、日々の支援に活かしています。また、ケアプランの更新及び見直し時にはアセスメントを実施し、利用者の現状や課題、思い等を抽出しケアプランに反映しています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	初回面談時に把握している情報はご家族の思い込みによるものも多くあり、入居されてから、徐々に把握できるケースが増えております。職員間の情報共有でより良いケアが提供できるように努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	朝・夕の申し送りや、季節ごとの変化等を追うこと 状況変化時、アセスメントを実施し、プランに活かせるようにしております。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月、モニタリングを実施し、ケアプランに反映しております。その際に関係者にとの話し合いの場を設けております。	アセスメントで抽出した結果を踏まえ、担当者会議において職員、家族の意見を収集し、総合的な意見を踏まえてケアプランを作成しています。ケアプランで掲げた目標の達成状況は毎月のモニタリングで確認しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	朝・夕の申し送りや、個人日誌記録のプラン実施状況の確認、ご本人の意向の確認、スタッフ・関係者にも状況確認を行ってプラン継続or見直しに反映しております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	原則、介護保険制度に即したサービス内容を実施しております。ニーズにより柔軟なサービスが安全に行えることを最優先としております。		

グループホームガーデンコート我孫子北(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	障害者総合支援法の利用者がおります。外出がまだ可能である為、外出支援はガイドヘルパーの利用の継続をしております。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居の際の説明で、入居後のかかりつけ医の選択はご本人・ご家族にお願いしております。提携医をかかりつけ医として選択した場合でも必要時専門医より医療を受けられるよう支援しております。	提携先の医療機関とは月2回の往診を通じて連携し、利用者が必要な医療を受けられる体制を築いています。提携先医療機関とは24時間のオンコール体制を築いており、利用者の体調変化時にも迅速に対応できる体制としています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	現在のところ、看護師の配置はありませんが、今後医療連携の必要性は感じております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時の、「介護サマリー」による情報提供を実施しております。入院中の病状説明の際にご家族に了承を得られれば出席させていただいております。状態変化に対応できるように退院時のプラン変更を適切に行っております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約締結の際に、早い段階で重度化や終末期に向けた話し合いの場を家族間でもって頂けるようにご家族にお願いしております。	重度化や終末期に向けた方針については、利用契約の際にホームとして取り組めることを家族に説明し方針を共有しています。ホームで生活を送る中で重度化が見られる際には、主治医、家族と今後の方針について再度検討していくこととしています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時や、災害発生時のマニュアルを全職員に確認してもらっておりますが、定期的な訓練が不足しており、反省点です。早期に実施するようにいたします。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害対策マニュアル、洪水ハザードマップ等の確認は行っております。地域の災害対策について今年度は状況把握が不足しております。我孫子北地区まちづくり協議会との情報共有に努めます。	消防署の指導の下で消火訓練やAEDの使用の説明、日中の火災を想定した避難訓練の実施など年間2回実施しています。水害の危険性については事務所内にハザードマップを掲示しています。災害時のマニュアルの整備や備蓄品についても今後整備していくこととしています。	定期的に避難訓練を実施していますが、今後に向けては、地域の協力体制を呼びかけると共に、地域の方と合同で災害訓練なども実施できると良いと考えます。

グループホームガーデンコート我孫子北(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員間での情報共有と不適切ケアについての改善を随時実施し、取り組んでおります。	日々の支援の中では、利用者に関係のない話をしないことや「してあげている」ではなく「させて頂いている」という意識をもって利用者や接することができるように努めています。トイレ誘導の声掛けや居室への出入りについても羞恥心やプライバシーに配慮し対応しています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	希望の表出や、自己決定は聴く相手がいて初めて実現できることを全職員で意識したケアの実践に取り組んでおります。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員はその人が大勢と過ごす時間、ひとりを楽しむ時間の提供ができるよう支援しております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	職員は外出時や、特別な日の区別や身だしなみができるよう支援しております。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者や職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しめるよう、リクエスト食の提供や、嚥下状態に合わせた食事形態の工夫を行っております。買物、準備、片づけを一緒に行っております。	行事食などを作る際には、利用者にも手伝っていただき、職員と一緒に準備を進めています。食事を楽しむ工夫では、季節に合わせて行事食を行い手作りサンドウィッチを作ったり、ひな祭りにちらし寿司などを作り、季節感を感じられるように取り組んでいます。	今後に向けては、利用者の体調等を考慮しながら、日常的に食事の準備や後片付けに利用者のかかわりが増えることを期待します。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	健康管理面で1日のトータルで食事・水分摂取量の把握をしております。体重の増減にも留意しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアは職員の見守りで実施しております。火曜日訪問歯科の訪問日となっております。入れ歯は1日1回洗浄剤にて消毒を実施しております。日常的に口腔内の清潔保持に努めております。		

グループホームガーデンコート我孫子北(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	出来る限りトイレでの排泄ができるよう、誘導し支援しております。	利用者一人ひとりの排泄状況に関しては、個人日誌に水分摂取量や排泄に関する記録を残し、利用者一人ひとりの排泄パターンや習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援に努めています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分を多く摂って頂けるように工夫すること、活動量の低下を防ぐように努めております。下剤の調整はかかりつけ医の指示のもと、施設にて調整を行っております。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴に関しては曜日・時間の固定はしておりません。週に2～3回のペースで希望時間に実施出来るようにしております。浴槽は毎回お湯を交換しております。バスマットも同様。	利用者の体調やタイミングを考慮し、週2～3回入浴できるように支援しています。入浴中は職員が介助につき、転倒等が生じないように安全面に配慮するほか、各ユニットにリフトを設置し、状態が重い方でも湯船につかることができるように対応しています。	入浴の有無については「個人日誌」内に記録していますが、入浴のチェック欄に抜けが無いかについてチェックする仕組みの強化が望まれます。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の体力に合わせた安眠・休息の時間を確保していただいております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の管理マニュアルは拠点独自の物を作成し、全職員で共有しております。処方薬が変更時の情報共有、変化の報告に留意し、必要時、かかりつけ医への報告を行って対処しております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	参加型レクへの誘導と見守りの実施、塗り絵、折り紙、将棋、かるた、あやとり、カラオケ、散歩、買物、外気浴等を個々に楽しんで頂いております。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	遠出はしていませんが、施設周辺の散歩や、ドライブ等を楽しんでいただいております。	天候の良い日にはホーム周辺の散歩やホーム敷地内で栽培した野菜の収穫などに取り組んでいます。また定期的に地域のサロン活動やまちづくり協議会主催の行事への参加、通い慣れた床屋や将棋の同好会への参加など、定期的に戸外に出かけることができるように取り組んでいます。	

グループホームガーデンコート我孫子北(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個人のおこずかいは上限3万円までお東理出来ます。毎月出納帳をご家族に送付して状況報告しております。使いたい時に使っていただけるようになっております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	現在、携帯電話を所持しているお客様はおりません。施設内の電話を使用させていただいております。手紙やはがきはおこずかいより必要なものを購入していただきいつでも出していただけるよう支援しております。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感を感じて頂ける空間となるよう飾り付け等、工夫しております。	共用の空間は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、行事や季節に合わせて装飾を工夫し、生活感や季節感を採り入れ居心地良く過ごせるように工夫しています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファ位置を変える等で一人の時間を楽しめるよう配慮しております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は自宅にて使用していた思い出のある家具の持ち込み、お好みのカーテンを用意させていただいております。自宅より持参した布団にて休まれるお客様もいらっしゃいます。	居室は、利用者やご家族と相談しながら、使い慣れた家具や好みの物の持ち込みを可能とし、利用者が居心地よく過ごせるように配慮しています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設内部は安全・安心に生活できるよう、適所に手すりを配置し、自由に移動が行える造りとなっております。		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1292700190		
法人名	株式会社ヘルシーサービス		
事業所名	グループホームガーデンコート我孫子北(2階)		
所在地	千葉県我孫子市久寺家307-1		
自己評価作成日	平成29年2月15日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社アミュレット
所在地	東京都中央区銀座5-6-12みゆきビルbizcube7階
訪問調査日	平成29年3月2日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>当社の社是である、お客様・ご家族・地域の「健やかな暮らしに」に貢献するの 実現に向けて全職員が行動目標を持ち、個々のお客様が自立した楽しい生活が送れるように 支援しております。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>今年度ホームでは地域交流に力を入れ、利用者の方がホーム入居後においても地域の 一員として暮らし続けることができるように取り組んでいます。特に今年度は自治会内のまちづ くり協議会の会長と接点を持つ事ができ、地域行事への参加が高まりました。地域で開催さ れるサロン活動やまちづくり協議会主催の行事への参加を通じて、利用者が地域の方と交流 できる機会が増えています。また、社会福祉協議会が主催する認知症カフェにも参加をし、当 ホームの取り組み等を参加者の方に呼び掛けています。今後に向けても地域との交流を継 続すると共に日常定期的な外出活動の充実にも取り組む姿勢が確認できました。</p>
--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが ○ 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「社是・経営理念・心得」を拠点会議及び研修開催時、職員で唱和し、共有しております。	会社の社是、経営理念、心得をホーム内に掲示し、職員会議開始前の唱和により職員間で共有しています。また、地域向けやホーム内の行事開催にあたっての目的などを説明する際には、社是や心得を引用して説明するようにしています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	今年度は我孫子北地区において、まちづくり協議会の行事への積極的参加、「よりみちサロン風」の畑作業への協力を通し顔なじみの関係が構築できました。	地域で開催されるサロン活動やまちづくり協議会主催の行事への参加を通じて、利用者が地域の方と交流できる機会を設けています。また市のボランティア制度を活用しボランティアの受け入れや認知症サポーター養成講座の開催も行っています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	11月度外部講師を招いて「認知症介護サポーター養成講座」を開催し、地域住民の参加をいただいております。同じく11月に社協の「認知症カフェ」にて「GH」のことを語らせていただきました。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	今年度は2ヶ月に1度、偶数月に開催しました。事故防止や、感染症対策、災害(緊急時)の対応方法等ご意見いただき、活用させていただいております。又、認知症の方ご本人と職員に対する理解が深まったように感じております。	会議には家族、まちづくり協議会、地区民生委員、他事業所の施設長等の参加を受け2ヶ月に一度定期的に開催しています。会議では、ホームの取り組みや運営状況の報告のほか、参加者との意見交換を通じてサービス向上につなげられるように取り組んでいます。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	今年度は地域行事、社会福祉協議会の行事で市や、地域包括職員と一緒する機会は多くなっております。ご本人とご家族も含めた相談や、制度に関する相談にのっていただいております。	市の担当課職員は地域包括支援センターと交互で2ヶ月に一度の運営推進会議に参加しており定期的に意見交換を行うことができています。運営上の疑問点等を相談した際にも丁寧に回答を受けることができており、日頃から協力関係を築き運営を進めています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	今年度は1月に全職員に「自己点検シート」を使用しアンケートを実施し各自のケアについて振り返りを行っていただきました。玄関施錠については未改善となっております。	不適切な対応が発生していないか「自己点検シート」において全職員で確認を行うと共に、毎月の職員会議や日々の申し送りにおいて不適切な対応がないように注意を呼び掛けています。現状ホーム内では身体拘束につながる事例は発生していません。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることのないよう注意を払い、防止に努めている	職員には定期面談(3ヶ月毎)にてヒアリングを行うと共に介護相談員の訪問(第三者)、管理者による抜き打ちチェックを実施しております。		

グループホームガーデンコート我孫子北(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者、介護支援専門員は管理者研修等において学んだ「権利擁護に関する制度」をもとに職員に指導・教育しております。身近な「社会福祉士」への相談やいただいた助言をもとに情報共有を行っております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の締結、解約、又は改定等の際は、必ず文書を用いて説明を行っております。疑問点については具体例を出して、ご理解いただいております。改定に関しては事前にお客様に対し、文書にてご案内をして、準備をさせていただきます。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	今年度は10月に「お客様アンケート」を実施し匿名にて本部宛てにご意見、ご要望をあげいただき運営に反映させていただいております。家族環境が異なる為、個別に対応させていただいております。	家族からの意見や要望については面会時に直接伺うほか、電話連絡を通じて個別に確認しています。また毎年本部より「顧客満足度調査」を実施し、家族の方が事業所に対して意見や要望等を表出できる機会を設けています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員の意見は随時、聞く耳を持ち出来る範囲で取り上げるようにしておりますが、今年度はユニット会議開催数が少なく、反省点でもありません。Wワークの方が多いので開催日時等工夫して実施回数を増やしていきます。	管理者は3ヶ月に一度職員と個人面談を実施し、職員からの意見や要望等を個別に確認しています。支援や業務に対する意見、要望、提案等については会議や申し送り等で確認し、日々の支援に活かしていけるように取り組んでいます。	毎月予定している拠点会議の開催が不定期になっていることもあり、今後は定期的な開催を期待します。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員に定期面談(3ヶ月毎)にてヒアリングを行い各自の状況把握に努めております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	人員不足ということもあり、法人外への研修の参加が消極的になり、反省しております。資格保有者によるOJTは実践出来ました。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他事業所の事例検討会、我孫子市事業者連絡協議会主催の勉強会や、地域密着型サービスとの情報共有は随時行っております。近隣施設の「運営推進会議」への参加をしあい、活用させていただいております。		

グループホームガーデンコート我孫子北(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初回面談より、入居当初はご本人の生活歴や趣味嗜好が活かせるように努めております。住み替えによる混乱を最小限にできるようにご家族にも協力を仰いでおります。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	施設に入居することでご家族に罪悪感が生まれないようにと、いつも努めております。不安、要望にはひとつひとつ応えられるよう対処しております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	GHとはどのようなところで、どのようなサービスであるかをご家族全員にご理解いただけるように説明させていただきます。今、必要なサービスを選択いただけるように対応(紹介)しております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	お互いに感謝し合える信頼関係の構築に努めております。一人一人を「歯車」として捉えております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族においても「歯車」として捉えております。時には入居者の家族としてではなく、他のお客様との談話を楽しみに来て下さるご家族も増えました。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族、友人、知人の訪問(外出)の受け入れをしております。「将棋同好会」に週に1回のペースでお出かけになる方や、顔なじみの美容室(床屋)のご利用、お買いもの等の継続が出来るよう支援しております。	これまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないように、通い慣れた床屋の継続利用やこれまで通っていた将棋同好会に週に一度通えるように支援するなど、これまでの関係が継続できるように取り組んでいます。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	孤立せずに生活できるように顔を合わせる機会を増やすこと、レクリエーションへの誘導や見守りを行っております。		

グループホームガーデンコート我孫子北(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	3月、6月、9月にご退去がりましたが、退去後もご家族の相談や、経過をフォローさせていただいております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人・ご家族の希望、意向を把握しつつ、施設からのご提案をさせていただき、最終的に思いに応えられるように努力しております。	利用者からの意向や要望等については、職員が日常会話から収集し、日々の支援に活かしています。また、ケアプランの更新及び見直し時にはアセスメントを実施し、利用者の現状や課題、思い等を抽出しケアプランに反映しています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	初回面談時に把握している情報はご家族の思い込みによるものも多くあり、入居されてから、徐々に把握できるケースが増えております。職員間の情報共有でより良いケアが提供できるように努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	朝・夕の申し送りや、季節ごとの変化等を追うこと 状況変化時、アセスメントを実施し、プランに活かせるようにしております。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月、モニタリングを実施し、ケアプランに反映しております。その際に関係者にとの話し合いの場を設けております。	アセスメントで抽出した結果を踏まえ、担当者会議において職員、家族の意見を収集し、総合的な意見を踏まえてケアプランを作成しています。ケアプランで掲げた目標の達成状況は毎月のモニタリングで確認しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	朝・夕の申し送りや、個人日誌記録のプラン実施状況の確認、ご本人の意向の確認、スタッフ・関係者にも状況確認を行ってプラン継続or見直しに反映しております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	原則、介護保険制度に即したサービス内容を実施しております。ニーズにより柔軟なサービスが安全に行えることを最優先としております。		

グループホームガーデンコート我孫子北(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	障害者総合支援法の利用者がおります。外出がまだ可能である為、外出支援はガイドヘルパーの利用の継続をしております。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居の際の説明で、入居後のかかりつけ医の選択はご本人・ご家族にお願いしております。提携医をかかりつけ医として選択した場合でも必要時専門医より医療を受けられるよう支援しております。	提携先の医療機関とは月2回の往診を通じて連携し、利用者が必要な医療を受けられる体制を築いています。提携先医療機関とは24時間のオンコール体制を築いており、利用者の体調変化時にも迅速に対応できる体制としています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	現在のところ、看護師の配置はありませんが、今後医療連携の必要性は感じております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時の、「介護サマリー」による情報提供を実施しております。入院中の病状説明の際にご家族に了承を得られれば出席させていただいております。状態変化に対応できるように退院時のプラン変更を適切に行っております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約締結の際に、早い段階で重度化や終末期に向けた話し合いの場を家族間でもって頂けるようにご家族にお願いしております。	重度化や終末期に向けた方針については、利用契約の際にホームとして取り組めることを家族に説明し方針を共有しています。ホームで生活を送る中で重度化が見られる際には、主治医、家族と今後の方針について再度検討していくこととしています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時や、災害発生時のマニュアルを全職員に確認してもらっておりますが、定期的な訓練が不足しており、反省点です。早期に実施するようにいたします。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害対策マニュアル、洪水ハザードマップ等の確認は行っております。地域の災害対策について今年度は状況把握が不足しております。我孫子北地区まちづくり協議会との情報共有に努めます。	消防署の指導の下で消火訓練やAEDの使用の説明、日中の火災を想定した避難訓練の実施など年間2回実施しています。水害の危険性については事務所にハザードマップを掲示しています。災害時のマニュアルの整備や備蓄品についても今後整備していくこととしています。	定期的に避難訓練を実施していますが、今後に向けては、地域の協力体制を呼びかけると共に、地域の方と合同で災害訓練なども実施できると良いと考えます。

グループホームガーデンコート我孫子北(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員間での情報共有と不適切ケアについての改善を随時実施し、取り組んでおります。	日々の支援の中では、利用者に関係のない話をしないことや「してあげている」ではなく「させて頂いている」という意識をもって利用者と接することができるように努めています。トイレ誘導の声掛けや居室への出入りについても羞恥心やプライバシーに配慮し対応しています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	希望の表出や、自己決定は聴く相手がいて初めて実現できることを全職員で意識したケアの実践に取り組んでおります。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員はその人が大勢と過ごす時間、ひとりを楽しむ時間の提供ができるよう支援しております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	職員は外出時や、特別な日の区別や身だしなみができるように支援しております。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しめるよう、リクエスト食の提供や、嚥下状態に合わせた食事形態の工夫を行っております。買物、準備、片づけと一緒にしております。	行事食などを作る際には、利用者にも手伝っていただき、職員と一緒に準備を進めています。食事を楽しむ工夫では、季節に合わせて行事食を行い手作りでサンドウィッチを作ったり、ひな祭りにちらし寿司などを作り、季節感を感じられるように取り組んでいます。	今後に向けては、利用者の体調等を考慮しながら、日常的に食事の準備や後片付けに利用者のかかわりが増えることを期待します。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	健康管理面で1日のトータルで食事・水分摂取量の把握をしております。体重の増減にも留意しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアは職員の見守りで実施しております。火曜日訪問歯科の訪問日となっております。入れ歯は1日1回洗浄剤にて消毒を実施しております。日常的に口腔内の清潔保持に努めております。		

グループホームガーデンコート我孫子北(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	出来る限りトイレでの排泄ができるよう、誘導し支援しております。	利用者一人ひとりの排泄状況に関しては、個人日誌に水分摂取量や排泄に関する記録を残し、利用者一人ひとりの排泄パターンや習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援に努めています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分を多く摂って頂けるように工夫すること、活動量の低下を防ぐように努めております。下剤の調整はかかりつけ医の指示のもと、施設にて調整を行っております。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴に関しては曜日・時間の固定はしておりません。週に2～3回のペースで希望時間に実施出来るようにしております。浴槽は毎回お湯を交換しております。バスマットも同様。	利用者の体調やタイミングを考慮し、週2～3回入浴できるように支援しています。入浴中は職員が介助につき、転倒等が生じないように安全面に配慮するほか、各ユニットにリフトを設置し、状態が重い方でも湯船につかることができるように対応しています。	入浴の有無については「個人日誌」内に記録していますが、入浴のチェック欄に抜けが無いかについてチェックする仕組みの強化が望まれます。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の体力に合わせた安眠・休息の時間を確保していただいております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の管理マニュアルは拠点独自の物を作成し、全職員で共有しております。処方薬が変更時の情報共有、変化の報告に留意し、必要時、かかりつけ医への報告を行って対処しております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	参加型レクへの誘導と見守りの実施、塗り絵、折り紙、将棋、かるた、あやとり、カラオケ、散歩、買物、外気浴等を個々に楽しんで頂いております。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	遠出はしていませんが、施設周辺の散歩や、ドライブ等を楽しんでいただいております。	天候の良い日にはホーム周辺の散歩やホーム敷地内で栽培した野菜の収穫などに取り組んでいます。また定期的に地域のサロン活動やまちづくり協議会主催の行事への参加、通い慣れた床屋や将棋の同好会への参加など、定期的に戸外に出かけることができるよう取り組んでいます。	

グループホームガーデンコート我孫子北(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個人のおこずかいは上限3万円までお東理出来ます。毎月出納帳をご家族に送付して状況報告しております。使いたい時に使っていただけるようになっております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	現在、携帯電話を所持しているお客様はおりません。施設内の電話を使用させていただいております。手紙やはがきはおこずかいより必要なものを購入していただきいつでも出していただけよう支援しております。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感を感じて頂ける空間となるよう飾り付け等、工夫しております。	共用の空間は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、行事や季節に合わせて装飾を工夫し、生活感や季節感を採り入れ居心地良く過ごせるように工夫しています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファ位置を変える等で一人の時間を楽しめるよう配慮しております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は自宅にて使用していた思い出のある家具の持ち込み、お好みのカーテンを用意させていただいております。自宅より持参した布団にて休まれるお客様もいらっしゃいます。	居室は、利用者やご家族と相談しながら、使い慣れた家具や好みの物の持ち込みを可能とし、利用者が居心地よく過ごせるように配慮しています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活を送れるように工夫している	施設内部は安全・安心に生活できるよう、適所に手すりを配置し、自由に移動が行える造りとなっております。		